

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 11日

川崎市長 殿

提出者

住 所 神奈川県川崎市川崎区鈴木町1番1号

氏 名 味の素株式会社 川崎事業所
 執行役常務 事業所長 高柳 大
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 044-222-1114

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

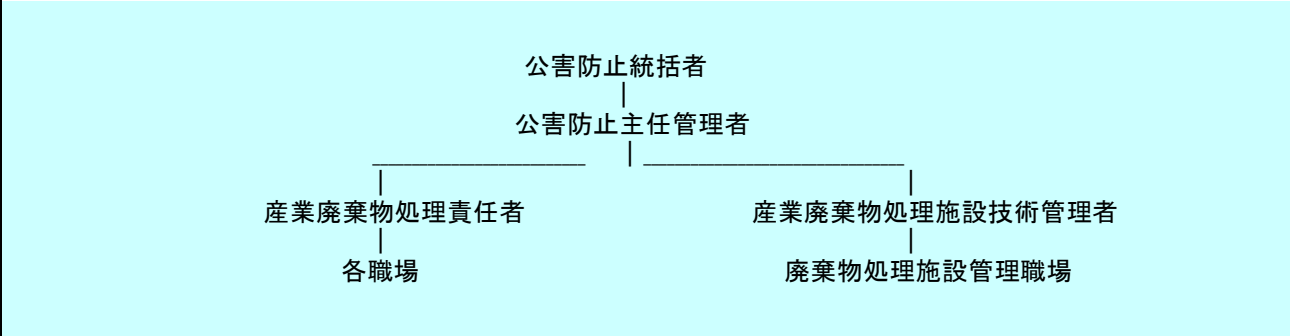
| | | |
|---------|-------------------------|------------------------|
| 事業場の名称 | 味の素株式会社 川崎事業所 | 自主管理事業登録番号 (3003) |
| 事業場の所在地 | 神奈川県川崎市川崎区鈴木町1番1号 | TEL(連絡先): 044-233-0322 |
| 計画期間 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間) | |

当該事業場に関する事項

| | | | |
|---|--|-------------|------------|
| ① 事業の種類 | E16-化学工業 (具体的には) アミノ酸、化粧品素材の製造 | | |
| ② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。 | 製造業 | 製造品出荷額 | 15,445 百万円 |
| | 建設業 | エリア内元請完成工事高 | 百万円 |
| | 医療機関 | 病床数 | 床 |
| | その他の業種 | 売上高 | 百万円 |
| | (上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。) | | |
| ③ 従業員数 | 1423 | | |
| ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入 | <p style="text-align: center;"> 廃棄物の発生 ↓ 処理依頼(発生職場⇒廃棄物管理職場) ↓ 処理依頼(廃棄物管理職場⇒中間処理業者) ↓ 廃棄物の引き渡し ↓ 電子マニフェストの入力(廃棄物管理票) </p> | | |

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | |
|--|--|
| ① 現状 | 【前年度(令和5年度)実績】 |
| | 産業廃棄物の種類数 11 種類 ① 排出量 95,526.3 t * 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。 |
| ② 計画 | 【(令和6年度)目標】 |
| | 産業廃棄物の種類数 11 種類 ① 排出量 90,800.1 t * 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。 |
| (これまでに実施した取組) | |
| 「廃棄物・副生物の資源化率98.7%」 アミノ酸製造時に副生物(包材含む)が排出されるが、副生物を場内設置の処理施設にて脱水・乾燥等を行い、排出量を減量している。 新製品製造開始時、副生物の有効利用を念頭に検討を行っている。 | |
| (今後実施する予定の取組) | |
| 排出現場での発生量の確認及び過剰な廃棄を削減する。 | |

産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|------|---|
| ① 現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001管理文書に規定され、確実な運用を実施している。 定期的に職場の廃棄物置き場の分別状況を確認し、問題があれば関係者と共有し是正を行っている。 |
| ② 計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別基準の順守及び廃棄物処分先の現地確認の実施による適正処理を確認する。 ・新入社員、転入社員への教育を実施する。 ・社内の廃棄物関連の情報を定期的に発信する(専用HPの活用、社内掲示板システムの活用など)。 |

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|----------------------|------------------------|------------|-----------------------------------|
| ① 現状 | 【前年度(令和5年度)実績】 | | |
| | ②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | 834.6 t | * 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。 |
| ② 計画 | 【(令和6年度)目標】 | | |
| | ②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 792.9 t | * 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。 |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度(令和5年度)実績】 | | |
| | ⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 0 t | * 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。 |
| ② 計画 | ⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 93,603.5 t | * 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。 |
| | ⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | t | * 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。 |
| ② 計画 | ⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 88,923.6 t | * 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。 |

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

| | |
|------|--|
| ① 現状 | 【前年度(令和5年度)実績】 |
| | ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 0 t (これまでに実施した取組) |
| ② 計画 | 【(令和6年度)目標】 |
| | ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 t (今後実施する予定の取組) |

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

| | | |
|--|---------------------------|--------------------------|
| ① 現状 | 【前年度(令和5年度)実績】 | |
| | ⑩ 全処理委託量 1,088.2 t | * 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。 |
| | ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 619.5 t | |
| | ⑫ 再生利用業者への処理委託量 991.1 t | |
| | ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 0 t | |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 97.1 t | | |
| (これまでに実施した取組) | | |
| 各廃棄物の処理に対してのリスク低減のため、複数の廃棄物処理業者と契約を締結する。 | | |

| 【(令和6年度)目標】 | | | |
|---|-----------------------------|-----------|--------------------------|
| ② 計画 | ⑩ 全処理委託量 | 1,083.6 t | * 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。 |
| | ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 635.3 t | |
| | ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 991.4 t | |
| | ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | t | |
| | ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 89.2 t | |
| (今後実施する予定の取組) | | | |
| 廃棄物の広域処理から近隣処分先へ移行する(廃棄物輸送に伴うCO2排出量の削減)。 サーマルリカバリーからマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルへの処分先の切り替えを検討する。 | | | |
| ※ 事務処理欄 | | | |

備考

- 1 この様式は、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

別紙処理フロー

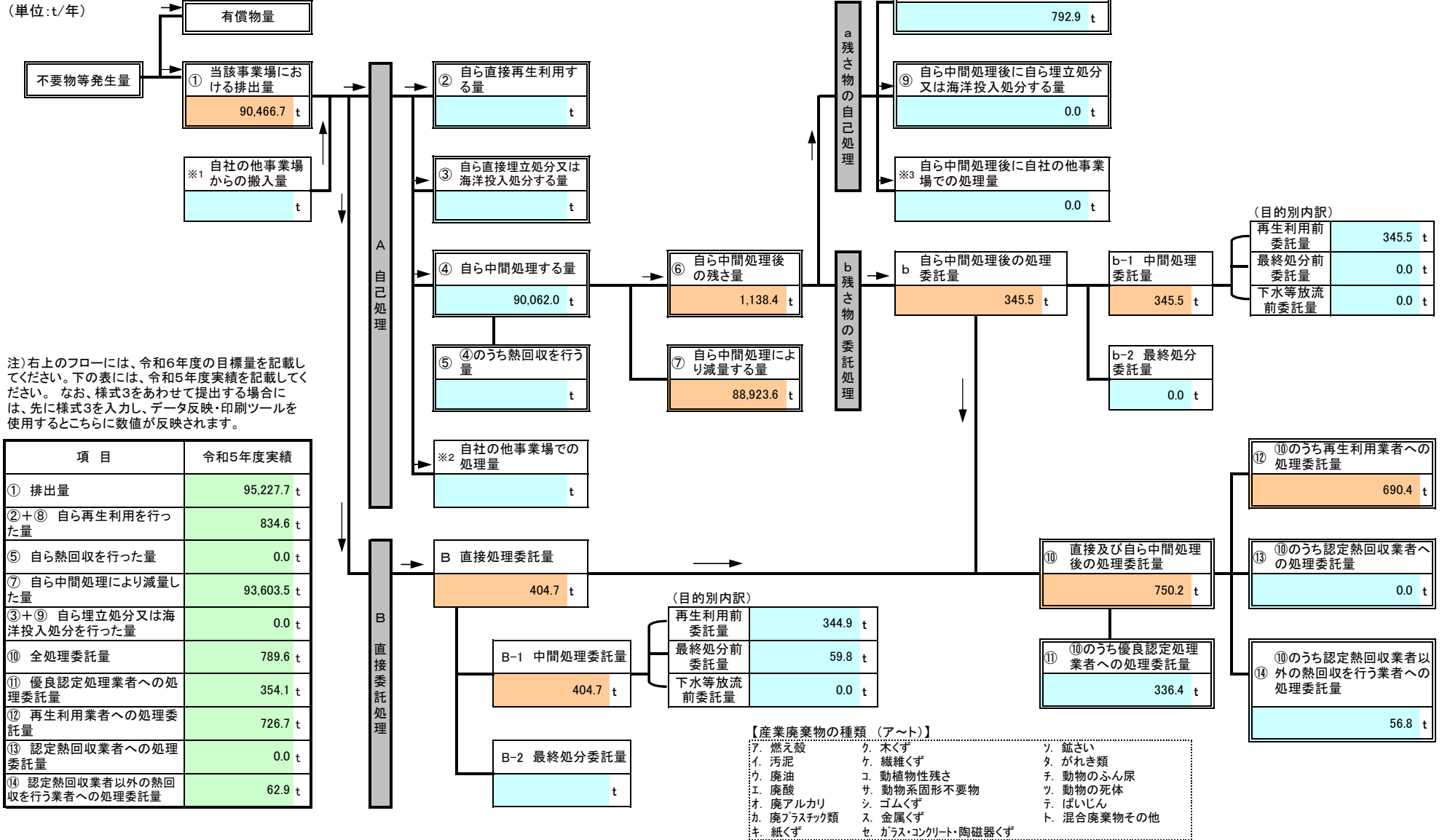
事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|-------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | イ. 汚泥 |
|------------------|-------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|------------|
| ① 排出量 | 95,227.7 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 834.6 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 93,603.5 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 789.6 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 354.1 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 726.7 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 62.9 t |

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

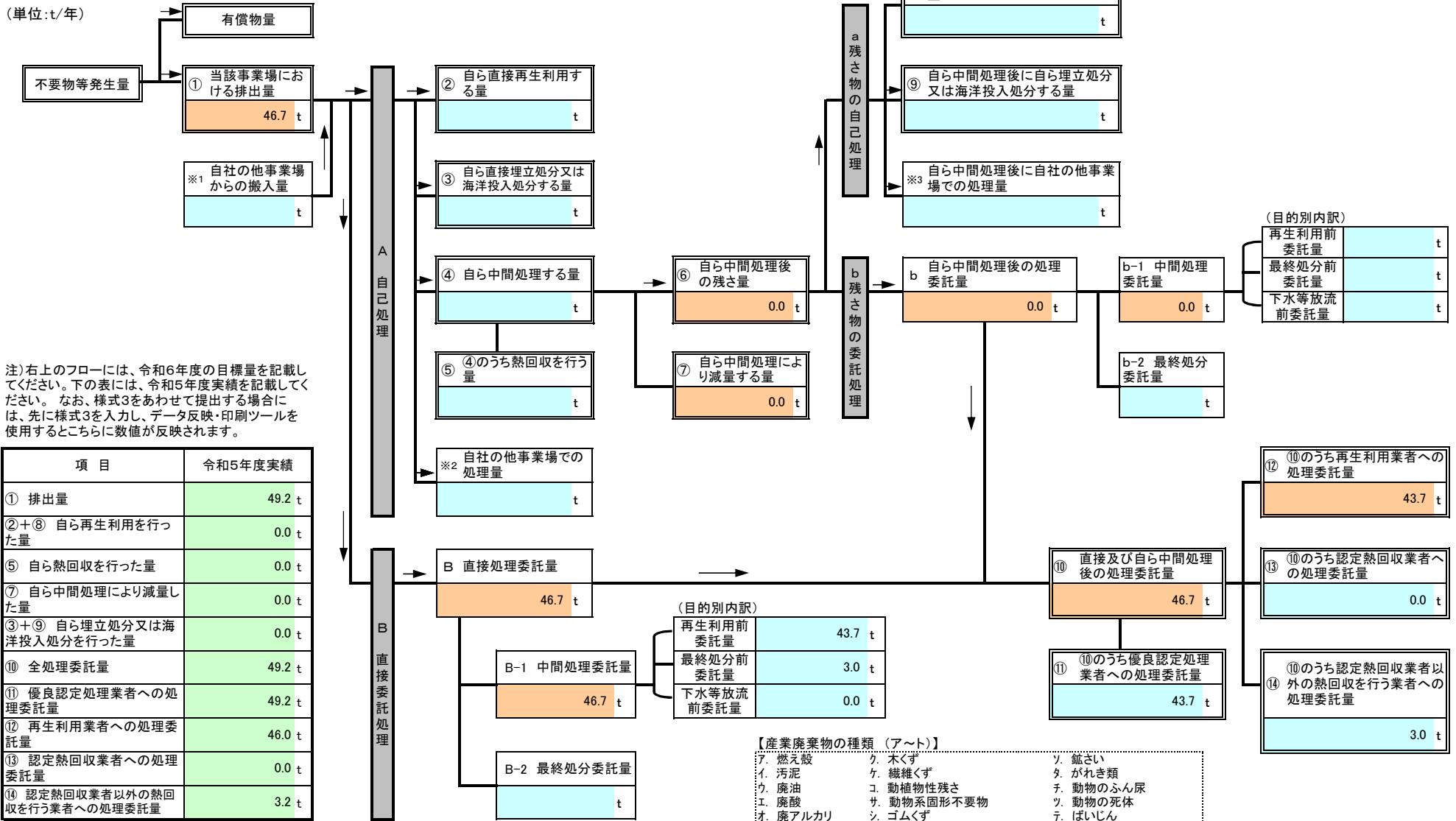
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|-------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | ウ. 廃油 |
|------------------|-------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 49.2 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 49.2 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 49.2 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 46.0 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 3.2 t |

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

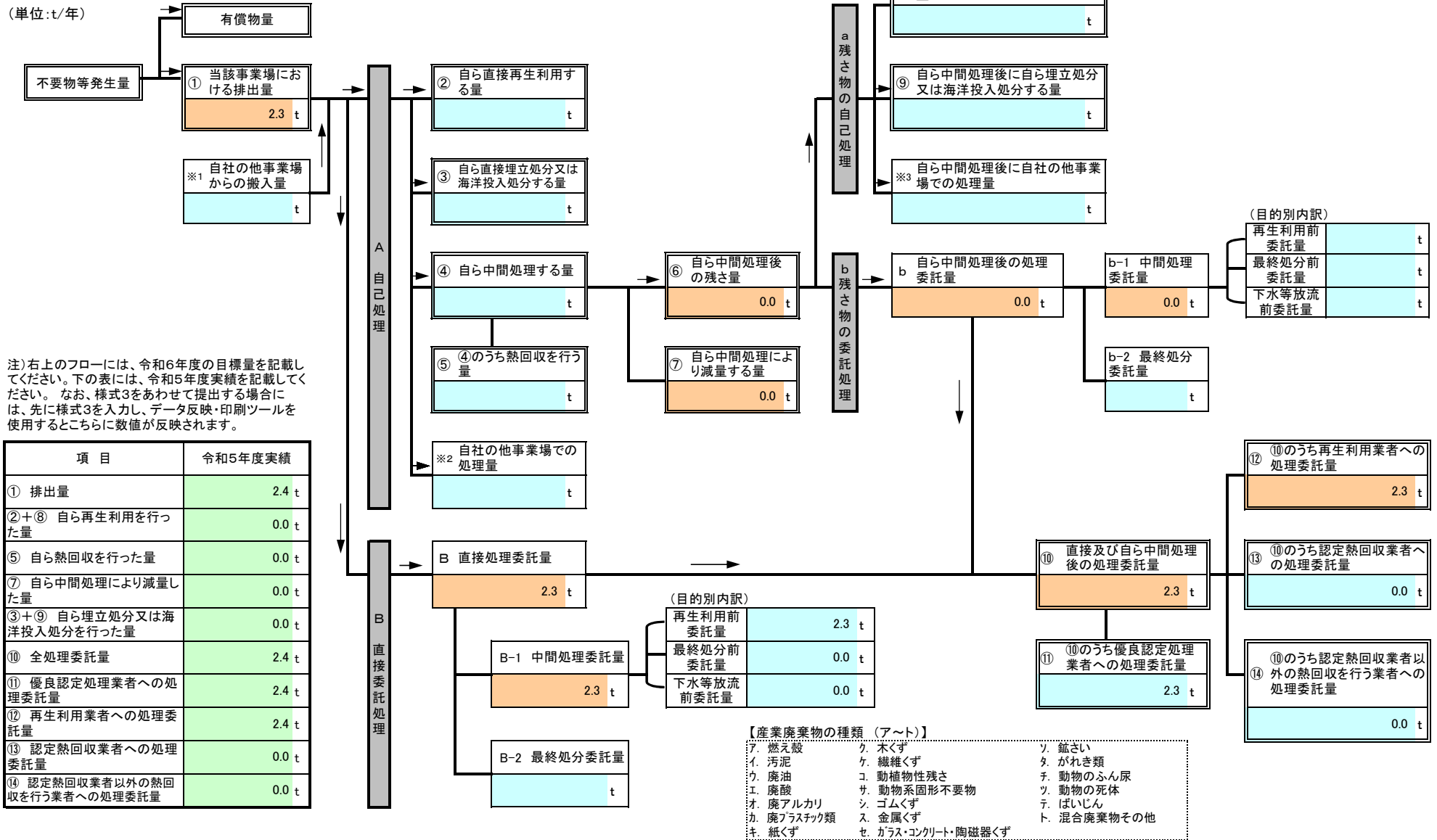
事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|-------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | 工. 廃酸 |
|------------------|-------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 2.4 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 2.4 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 2.4 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 2.4 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.0 t |

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

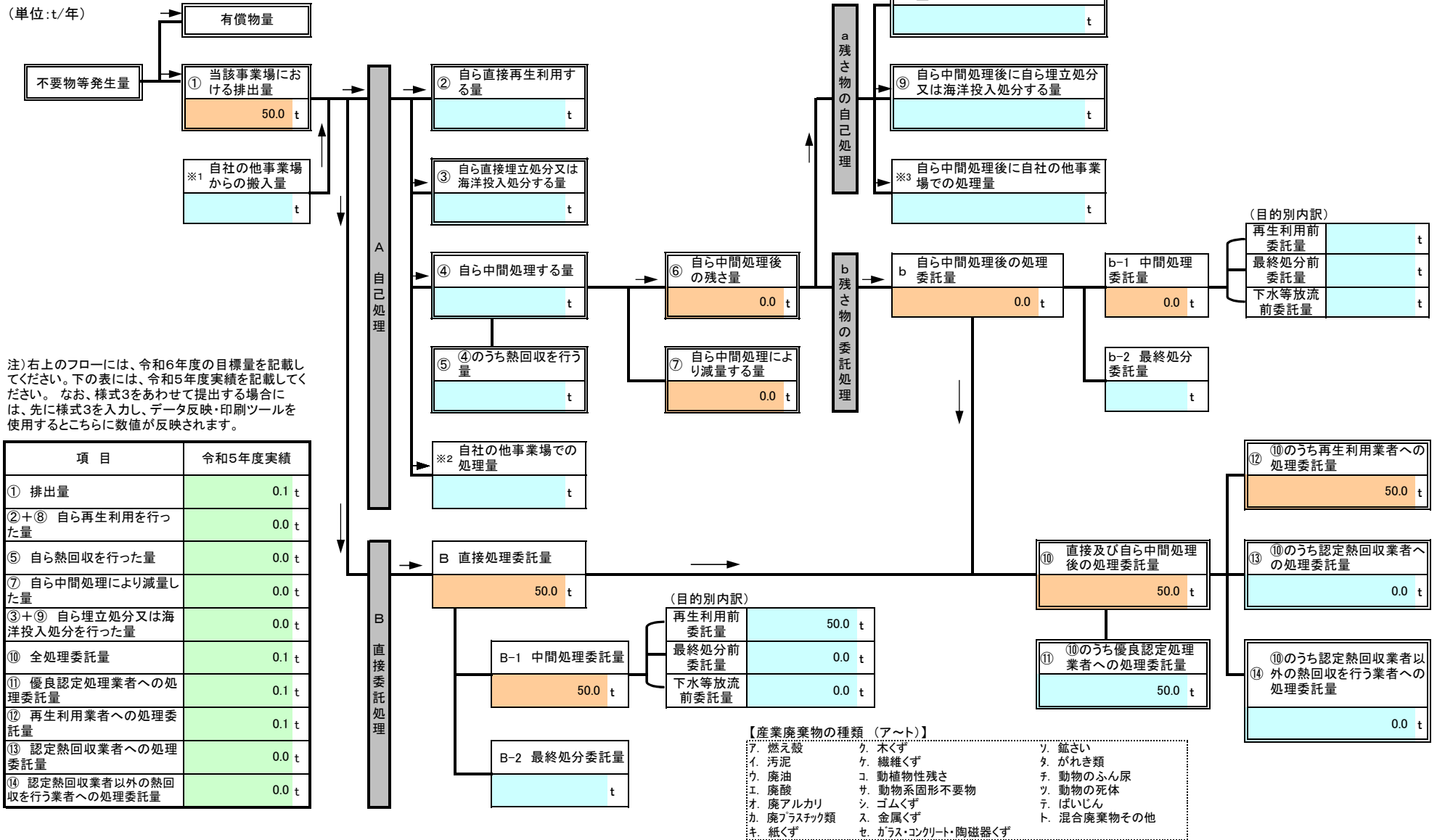
事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|----------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | オ. 廃アルカリ |
|------------------|----------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 0.1 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 0.1 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 0.1 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 0.1 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.0 t |

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

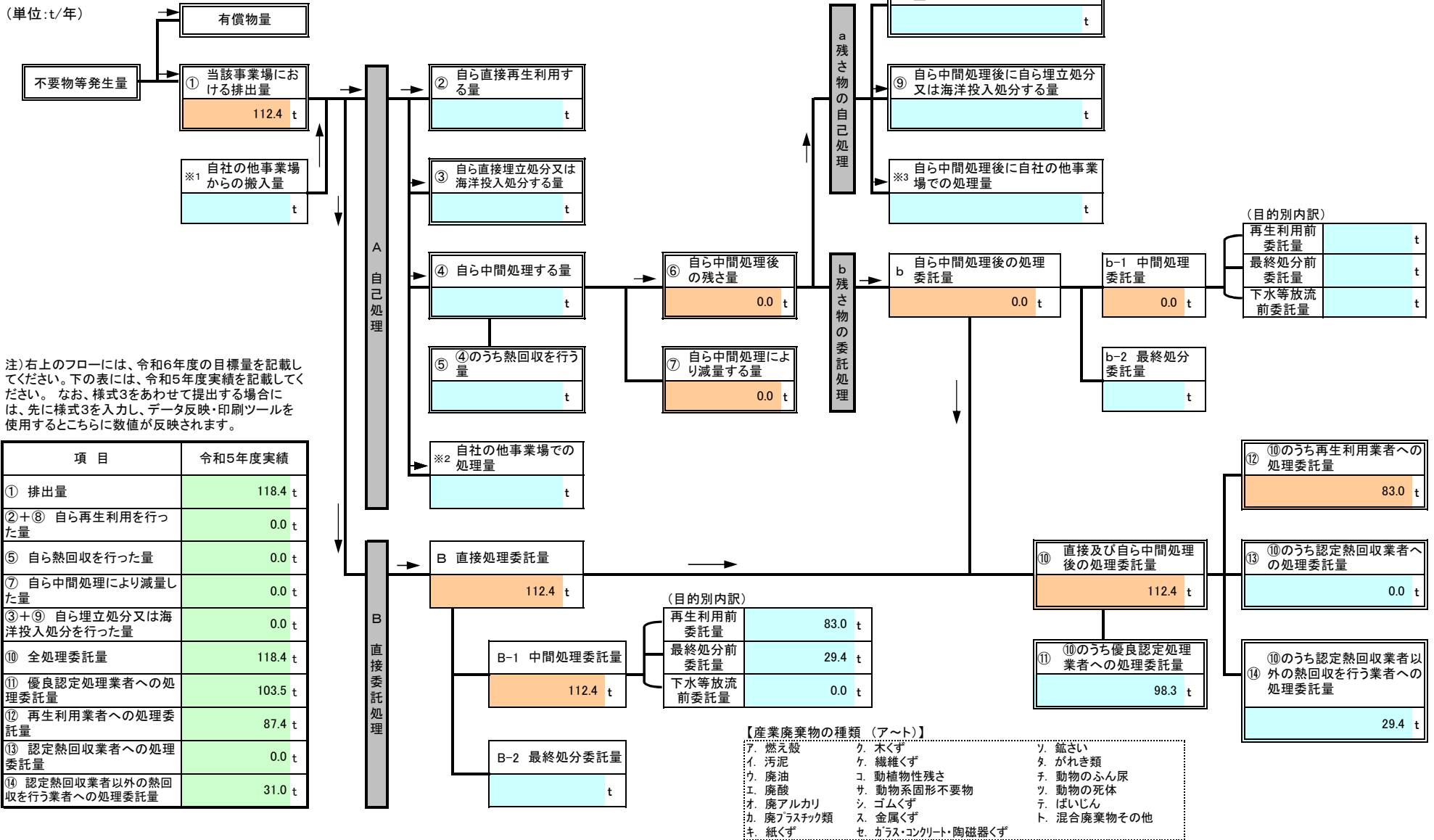
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|-------------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | カ. 廃プラスチック類 |
|------------------|-------------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 118.4 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 118.4 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 103.5 t |
| ⑫ 再生利用者への処理委託量 | 87.4 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 31.0 t |

事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

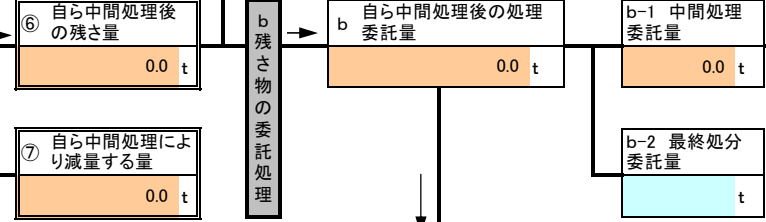
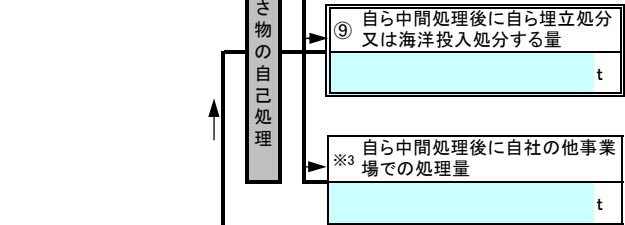
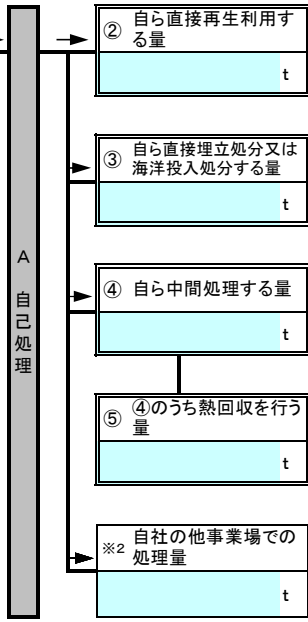
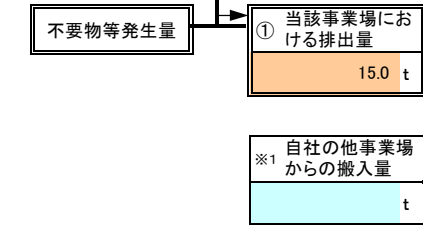
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 **ク. 木くず**

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

【木くず】には業種指定等があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品賃貸業に係るもの、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)。
【全業種対象】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材を含む。)

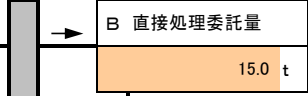


(目的別内訳)

| | |
|-----------|---|
| 再生利用前委託量 | t |
| 最終処分前委託量 | t |
| 下水等放流前委託量 | t |

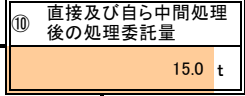
注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 15.8 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 15.8 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 15.8 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 15.8 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.0 t |



(目的別内訳)

| | |
|-----------|--------|
| 再生利用前委託量 | 15.0 t |
| 最終処分前委託量 | 0.0 t |
| 下水等放流前委託量 | 0.0 t |



| | |
|---------------------|--------|
| ⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 | 15.0 t |
|---------------------|--------|

| | |
|----------------------|-------|
| ⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
|----------------------|-------|

| | |
|-----------------------|--------|
| ⑭ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 | 15.0 t |
|-----------------------|--------|

| | |
|-------------------------------|-------|
| ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.0 t |
|-------------------------------|-------|

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

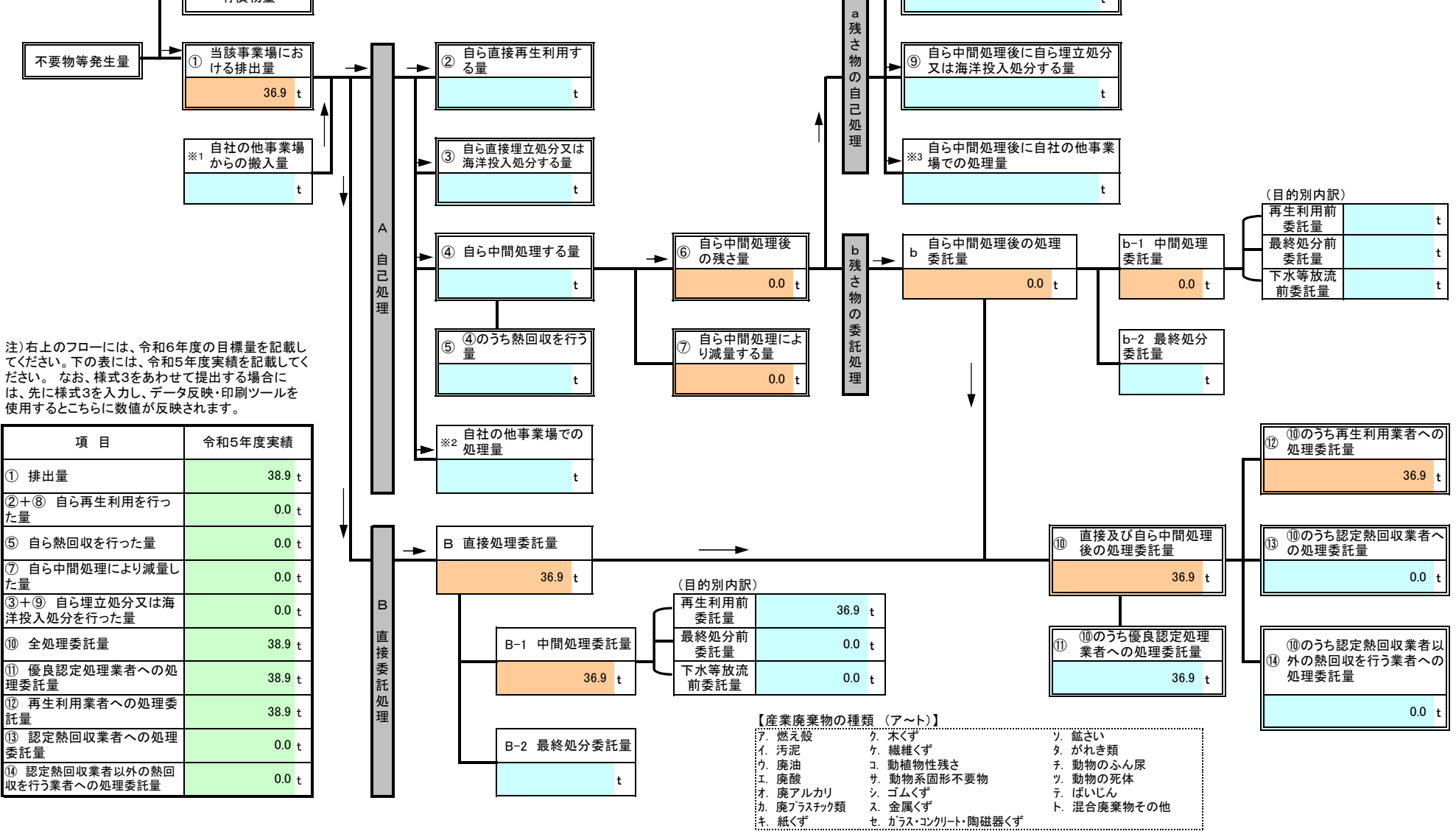
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|----------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | コ、動植物性残さ |
|------------------|----------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

「動植物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【該当業種】食品品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 38.9 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 38.9 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 38.9 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 38.9 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.0 t |

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

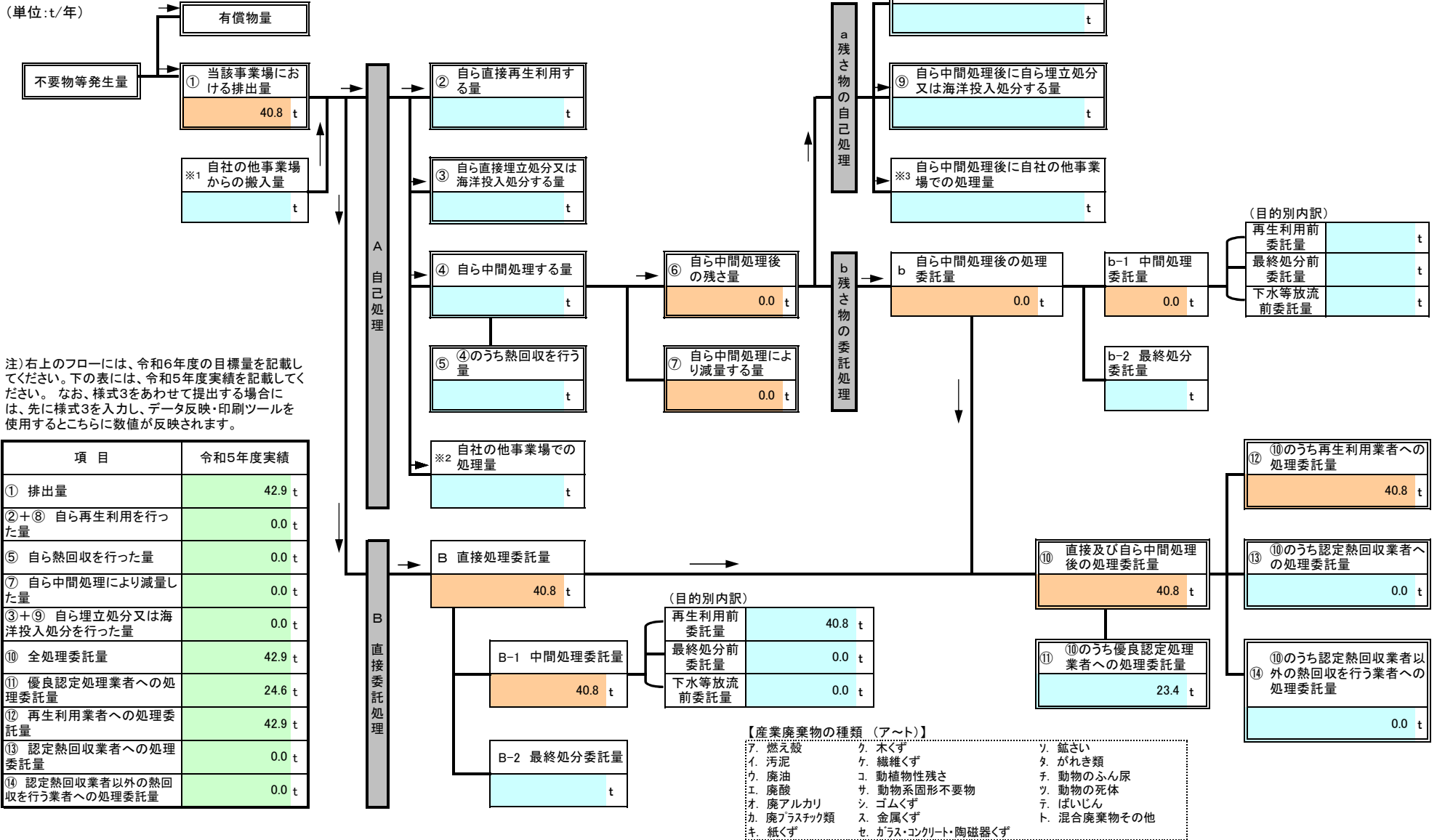
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|--------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | ス、金属くず |
|------------------|--------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

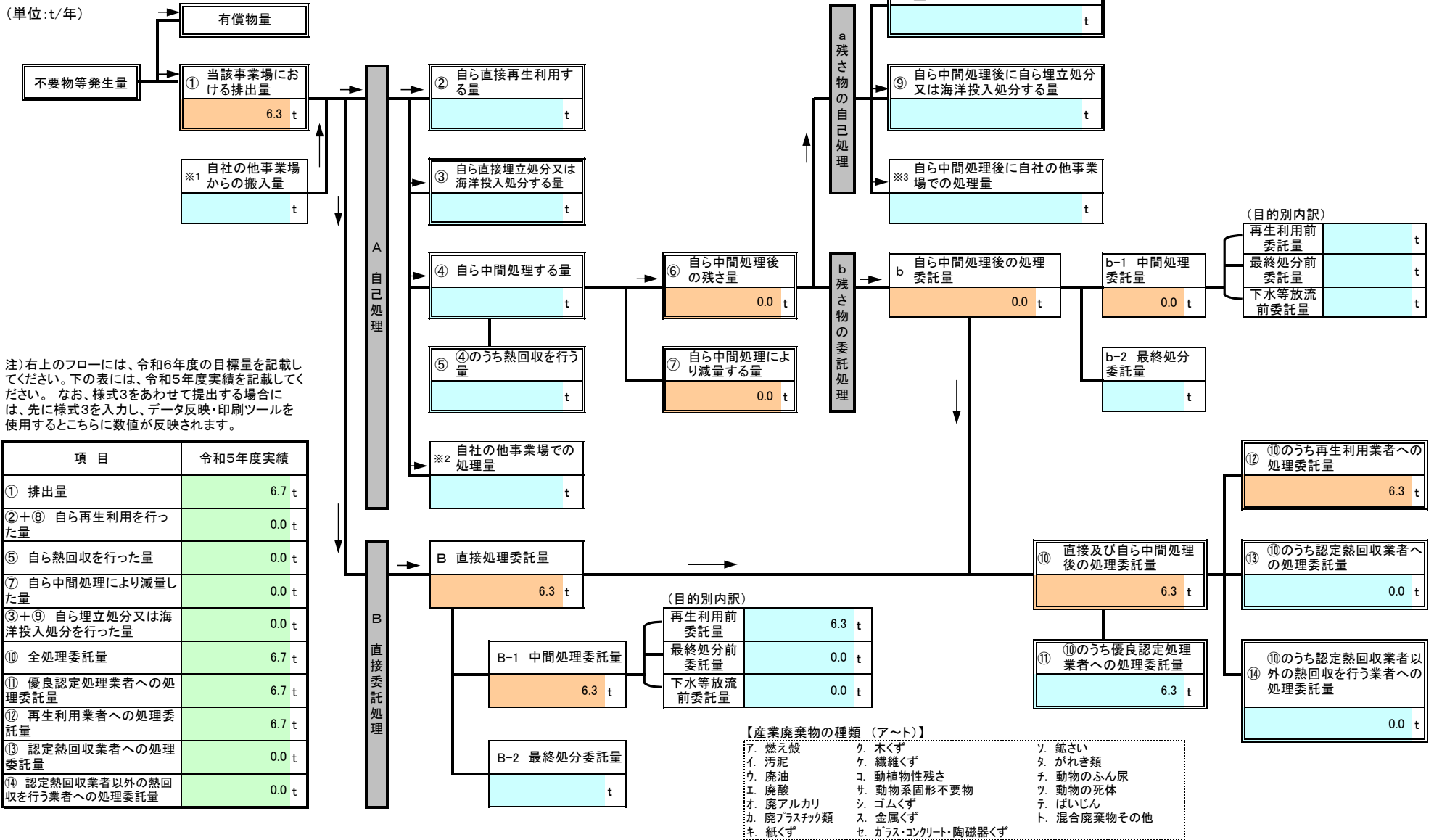
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|---------------------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず |
|------------------|---------------------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

別紙処理フロー

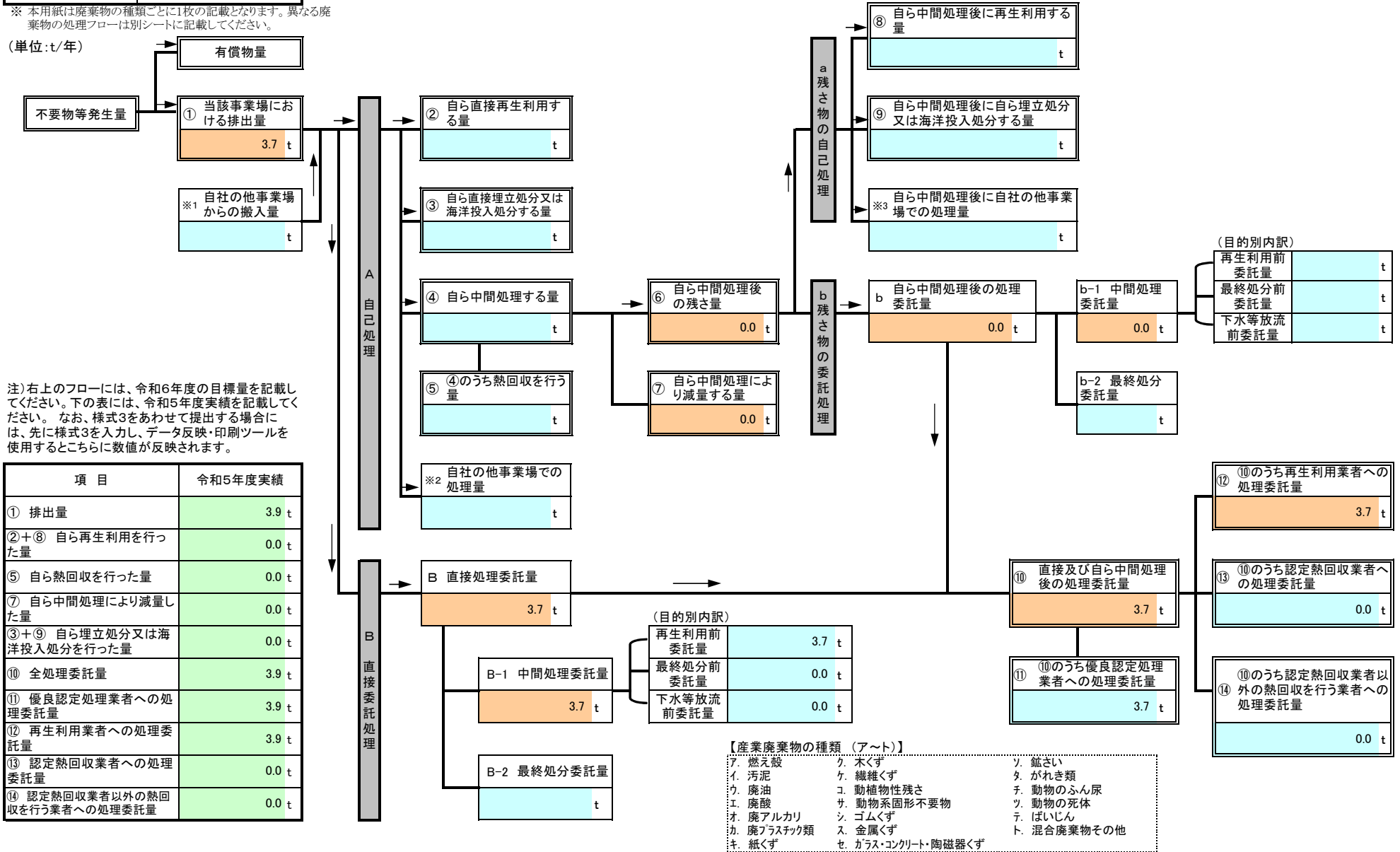
事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|--------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | タ、がれき類 |
|------------------|--------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 3.9 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 3.9 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 3.9 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 3.9 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.0 t |

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

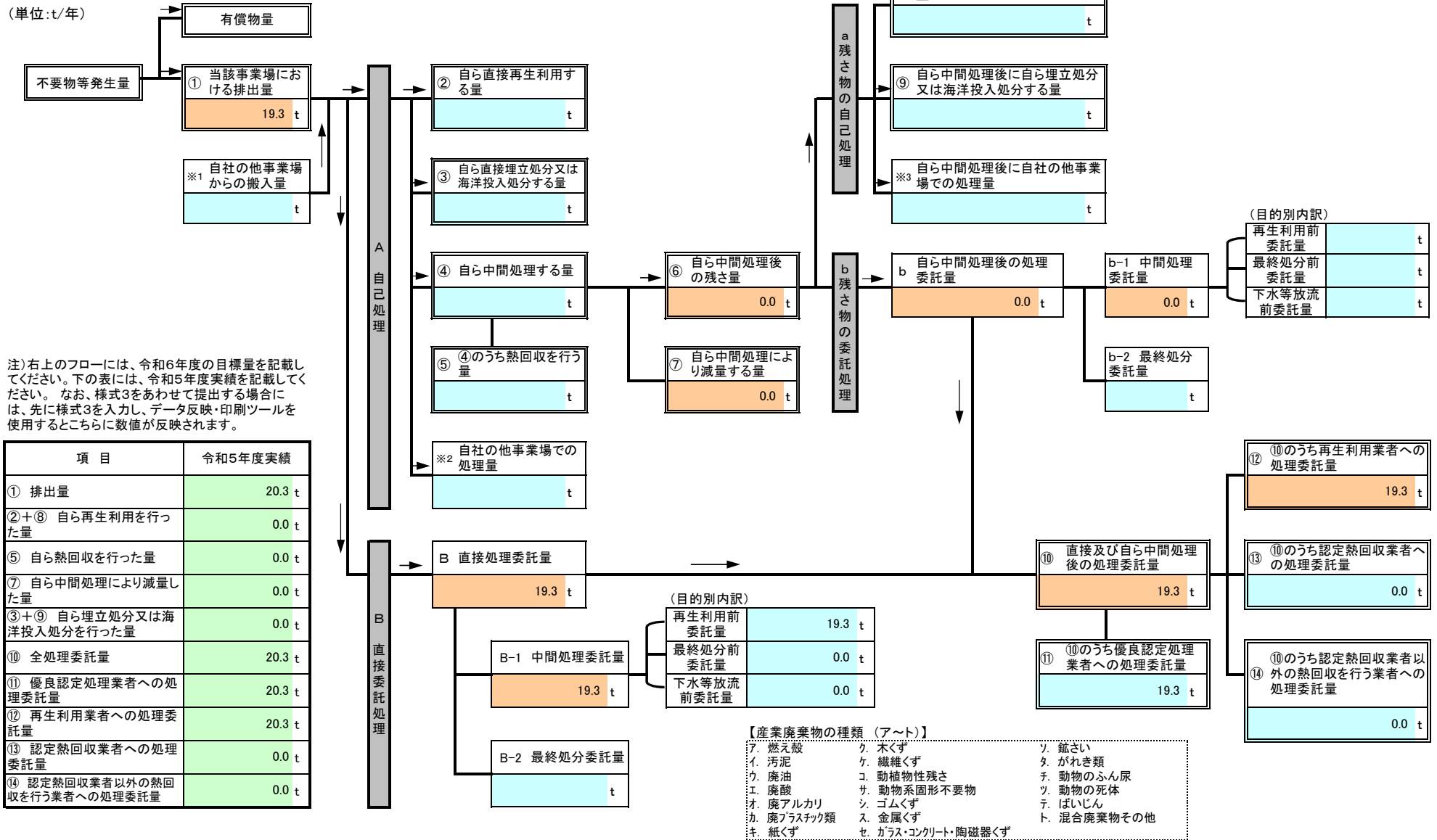
事業場名称 : 味の素株式会社 川崎事業所

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

| | |
|------------------|------------|
| フローに記載した産業廃棄物の種類 | ト、混合廃棄物その他 |
|------------------|------------|

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------------------------|---------|
| ① 排出量 | 20.3 t |
| ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 | 0.0 t |
| ⑤ 自ら熱回収を行った量 | 0.0 t |
| ⑦ 自ら中間処理により減量した量 | 0.0 t |
| ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.0 t |
| ⑩ 全処理委託量 | 20.3 t |
| ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 | 20.3 t |
| ⑫ 再生利用業者への処理委託量 | 20.3 t |
| ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 | 0.0 t |
| ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.0 t |

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他